

CONTENTS

表紙	校友会設立30周年記念祝賀会
	校友会設立30周年記念を終えて(校友会 会長 牧野敬一)
P2,3	校友会設立30周年記念祝賀会
P4	学長メッセージ「校友会30周年」
P5	平成28年度 敬愛大学校友会定期総会について
P6	CAMPUS NOW
	思い出コーナー(国際学部 教授 中村 圭三)
P7	敬愛大学AO入試における校友会推薦の特典について
裏表紙	敬愛フェスティバル実行委員長メッセージ
	第6回ホームカミングデー 開催



①式典 牧野会長挨拶 ②長戸路学園長 祝辞 ③敬愛大学50周年へ寄付 ④杉村太蔵氏の講演



30周年記念祝賀会。 懐かしい旧友と歴史を 振り返り、団結を誓う。

平成28年9月17日(土)、三井ガーデンホテル千葉にて敬愛大学校友会30周年記念祝賀会が盛大に開催されました。校友会は1986(昭和61)年11月30日に設立。会員の皆様方のご協力とご支援のおかげで、列席者は関係者を含め総勢250名にのびりました。ゲ

ストにお招きした元国会議員、杉村太蔵氏の特別講演等もあり祝賀会は大盛況。設立当初からの歴史を振り返りながら旧友との懐かしい会話が花が咲き、改めて校友会の必要性を再確認した貴重な一日となりました。

校友会設立30周年記念を 終えて

校友会会員の皆様には、今年は特に台風の襲来の多い年で有りましたが、被害もなく、お元気にお過ごしでしょうか。

今年は、校友会設立30周年の記念の年で、9月17日に三井ガーデンホテル千葉にて、記念式典そして記念祝賀会を盛大に開催することが出来ました。多くの会員の皆様に御参加を頂きまして、心より御礼を申し上げます。

校友会設立30周年の記念の年に敬愛大学でも創立50周年の記念の年を迎えます。

そこで、今年度の総会時に役員会に二任を頂いた校友会から大学50周年記念への寄付金として、500万円を記念式典の席上で、三幣敬愛大学学長に贈呈させて頂きました。大学では、校友会からの寄付金を稲毛キャンパスの教育環境整備や教育内容の充実に向けて使用し、次の50年に向けて歩むために使用して頂けるとの学長のお礼の言葉を頂きました。校友会員の皆様方も一人一人が出来る大学への応援をお願いしたいと思います。校友会も30周年を機に、次の40年に向けて新たな歩みを始めます。

その為には、校友会役員及び事務局員二同が丸となって、会員の全てが校友会の事業や活動に関心を持つて頂き、多くの皆様方に参加協力を得て頂けるよう精一杯努力していく所存でありますので、今後とも御協力を賜りますようお願い致します。





牧野会長の挨拶



特別記念講演をする杉村太蔵氏



設立30周年、 節目の記念祝賀会。 そして40周年に向けた 新たな旅立ち。



橋本前会長による乾杯



滝原相談役による
祝賀パーティー開会の辞

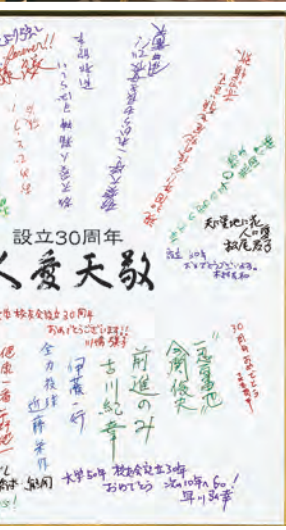


橋本前会長へ感謝状を贈呈



青山副会長による式典開会の辞

30th Anniversary!



美味しそうな料理、ご満足いただけたでしょうか？

今年、記念すべき30周年を迎えた敬愛大学校友会は、平成28年9月17日(土)、三井ガーデンホテル千葉にて設立30周年記念祝賀会を盛大に開催致しました。

青山博 副会長による開会の辞の後、牧野敬会長の挨拶があり、会員、来賓の皆様方へのお礼と校友会の更なる発展のため交流と親睦を深め、多くの会員の方々に活動に参加していただきたいとのお話がありました。

そして学園長・長戸路政行様、理事長・

学長三幣利夫様よりご祝辞をいただき、続いて来賓の方々が紹介されました。その後、長年に渡り校友会活動にご尽力された橋本勇市前会長に感謝状と記念品の贈呈がありました。引き続き、今年50周年を迎える敬愛大学に校友会より祝いの金贈呈をさせていただきます。更には特別記念講演として元国会議員の杉村太蔵氏に「儲けをつかむ技術」と題し、人生経験を交えながら熱く語っていただきました。

その後、会場を移して30周年記念パーティーを開催。世界のウクレレアーティストによる演奏や敬愛大学音楽部のハーモニカが祝宴に華を添え、また、豪華賞品が当たる大抽選会も大いに盛り上がりました。

最後に校友会30周年の歴史を振り返って製作されたDVDが紹介されると、当時を思い出し、会場は懐かしさに浸りました。そして会長が挨拶の中でも触れました「40周年に向けて歩み始める」記念すべき一日となりました。



お前、変わらないなあ!



世界一のウクレレアーティストによる演奏



懐かしさに会話も弾みます



敬愛大学音楽部による美しいハーモニー



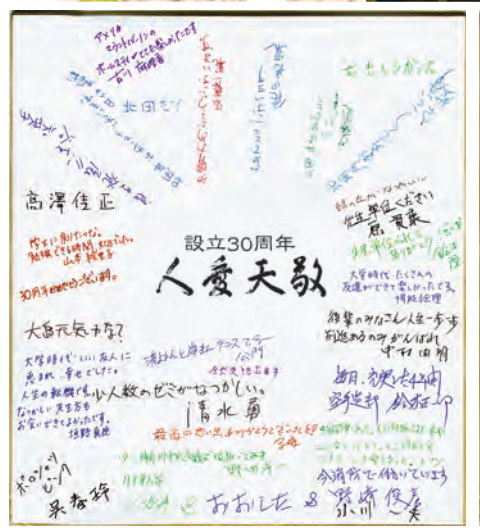
見事・特賞・1等賞を当てたOB&スーパーラッキーガール



加瀬監事による閉会の辞



DVDで30年の歴史をふりかえる



校友会30周年

敬愛大学 学長 三幣 利夫



敬愛大学校友会が創設30周年を迎えられましたことを、謹んでお祝い申し上げます。

本学も1966年に千葉敬愛経済大学として創立してから、今年で50周年の大きな節目となりました。経済学部経済学科の単科大学としてスタートして以来、1988年に敬愛大学と名称を改め、1997年には国際学部を新設し、1万3千名を超える卒業生を輩出してきた県内でも有数の歴史と伝統を誇る大学となっています。これに至るまで、校友会を始めとする関係者の方々の暖かいご協力と様々なご尽力に対し感謝申し上げます。次第です。殊に、校友会におかれましては、1986年に設立されて以来30年間、本学の教育活動に対し多岐に亘るご支援を賜り、母校敬愛大学を献身的に支え続けて来られました。この度も創立50周年に当たり多大のご寄付を拝領し、改め

て皆様のご厚情に心よりお礼申し上げますとともに、熱い母校愛に深い敬意を表します。

開学から50年が経過し、大学を取り巻く環境も大きく変わりました。社会はグローバル化し、知識・技術の進歩は速く激しく、他方では少子化が進み大学進学率は50%を超え、学生は多様化しています。このような変化の速く激しい時代を生きる若者の教育に関し、大学に期待される役割も大きく変わって

きました。

従い、これからの50年に向けて、本学は建学の精神「敬愛人」の理念のもとで、豊かな人間性を持ち、多様な人々と協働し共生できる人材、言い換えますと、グローバルな視野を持つ地域社会に貢献できる人材を養成して行きます。更に、変化の激しい社会を生きるためには、卒業後も知識・技能の修得・更新を可能とする学び直しの機会を含むキャリア支援体制の整備を実現したいと考えています。その一環として、JR稲毛駅前設置した生涯学習センターを更に充実させて、地域の方々の学び直しに貢献してまいります。また、学園では10年後の学園創設100周年に向けて、大学1号館の建替えを含む稲毛キャンパスの再整備を計画しており、稲毛を拠点として、地域に愛され、必要とされる大学を目指します。

18才人口の減少する中で、本学の継続・発展のために学生確保が重要な課題となります。因つて、本学では校友会との連携を強化し、より多くの志願者を確保するため、

AO入試における校友会推薦制度を設けています。会員の皆様方の身近に受験を控えている学生がおられましたら、「敬愛人」の素晴らしい精神に貫かれた本学を志願されるようお勧め頂きたく、宜しくお願い申し上げます。

結びに、母校の新たな50年に向けての発展のため、引き続き校友会会員の皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。校友会のますますのご発展と会員皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。



大活躍の学生たち!

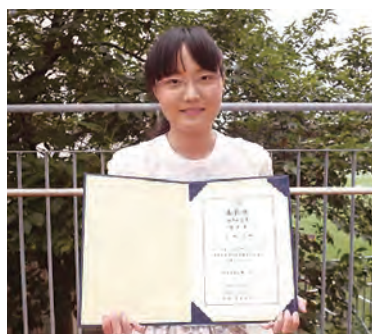
熊本地震支援

4月に発生した熊本地震の支援にあたり、本学学生有志が被災地支援のため募金活動を実施しました。4月20日～28日の実施期間で総額20万4,917円が集まり、災害ボランティア・NPO活動サポート募金「ボラサポ・九州」へ全額寄付いたしました。



留学生が千葉 キワニスクラブから表彰

千葉キワニスクラブが開催した留学生論文コンテスト(国際親善賞)で、国際学部2年の王堯玉さんが次席にあたる優秀賞を受賞しました。7月に行われた授賞式では多くの関係者の前に立ち、堂々と日本語で感謝のスピーチをしました。



6年目の「宮ボラ」

8月8日～10日に敬愛大学ボランティアセンターが主催した宮城県でのボランティア活動に22名の学生が参加し名取市、仙台市、石巻市、南三陸町にて活動しました。今年は「見る、聞く、話す」をテーマに多くを学ぶことができました。



思い出コーナー

学生と共に励んだ研究活動



国際学部 教授
中村 圭三

四十年に及ぶこれまでの研究活動を振り返ると、大きく四期に区分することができ。第一期は、博士論文作成のために、長野県菅平高原で二〇年間にわたって実施した、冷気流の研究。第二期は、大学教員として赴任した北海道オホーツク海沿岸地域における流水の研究。第三期は、一九九〇年に千葉敬愛短期大学に赴任してから開始した酸性雨の研究である。そして第四期は、還暦を迎えてから始めた、ネパールにおける気候環境と素汚染に関する研究である。

私の研究は、いずれも多くの研究協力者によって支えられてきた。第一期の研究においては、大学院の同僚・後輩・学部生との協力を得た。第二期の研究においては、当時大学で顧問を務めていた「自然科学研究会」の部員、地域の有志によって結成された「オホーツク流水研究会」の会員の皆様の協力を得た。「オホーツク流水研究会」は、トヨタ財団からの研究助成を受けて、大きな成果を上げることが出来た。

第三期からは、千葉敬愛学園にお世話になってからの研究である。千葉県は、京葉工業地帯に隣接し、日本でも大気汚染の深刻な地域である。短大の学生はほとんどが女子で、男子学生のような野外調査にはあまり向かない。

そこで、研究室における分析を主と

した、酸性雨の研究に取り組むことにした。酸性雨の研究で最も重要なことは、不純物の入らない酸性雨を採水することである。これは、簡単なようで、意外と難しいことである。ゼミ生は、毎日交代で、昼休みに蒸留水で洗浄した五リットルのビーカーにたまった酸性雨を採水した。採水時刻と採水量をノートに記録し、再び蒸留水で洗浄したビーカーを、観測所内の所定の場所にセットした。このことを、国際学部になってからも先輩から後輩へと受け継ぎ、二〇年以上にわたって継続した。この時のノートは、私の宝物として、今も大切に保管している。

採水した酸性雨のpH、EC(電気伝導度)の測定、イオンクロマトグラフによる成分分析のためと前処理などは、ゼミの時間に実施した。酸性雨は、大学周辺の環境モニタリングの方からも届けられ、これらの分析結果については、ゼミ生がそれぞれの地域を担当して、卒論としてまとめた。

最後の第四期は、還暦を目前にしてのエベレストへの登山から始まった。途中で高山病にかかってしまい、登山はあきらめたが、翌年からネパールでの環境調査を開始した。たまたまこの頃から国際学部へのネパール人留学生が急増し始め、帰省した学生が現地調査に参加してくれたり、調査計画作成に協力してくれたりした。彼らの協力もあって、二〇二年度から二〇二五年度までの五年間にわたり、科研費による海外調査「ネパール・テライ低地におけるヒ素汚染の実態と対策に関する研究」を実施することが出来た。

このように、これまでの長きにわたり、たゆまぬ研究活動を進めて来られたのは、終始学生の協力を励まされたことであったと、感謝申し上げる次第である。

敬愛大学AO入試における校友会推薦の特典について

18歳人口の急激な減少、長引く景気低迷により、多くの大学では次第に学生の確保が困難になってきております。

このような深刻な状況に、敬愛大学と校友会も強い危機感を抱いております。校友会では、母校敬愛大学の発展のために大学との連携を強化し、入学志願者の確保を目指し、敬愛大学AO入試において、校友会推薦制度を改正しました。内容につきましては右記をご参照ください。

会員の皆様方の身近に受験を控えている学生がいらっしゃいましたら、「敬天愛人」の素晴らしい建学の精神に貫かれた敬愛大学を志願されるようお勧めいただきたく、よろしくお願いいたします。

主 旨

校友会推薦は、校友会員〈準会員含む(1)のみ対象〉が母校の教育理念を理解・継承させたい者について校友会の承認を得て志願させることができる制度である。

出願資格

校友会推薦によって出願できる者は、次に該当する者とする。
校友会員の子息・子女、弟・妹、甥・姪および**校友会員が推薦する者で、校友会が承認する者**。

特 典

1 校友会 準会員(在学生)

校友会準会員の弟・妹・甥・姪(相応内)は**入学金(250,000円)が全額免除**されます。

2 校友会 会 員(本学卒業生)

(1) 校友会 会員の子息・子女、弟・妹・甥・姪(相応内)は**入学金(250,000円)が全額免除**されます。

(2) 校友会会員が特別に推薦する者は、**入学金(125,000円)が半額免除**されます。

手 続 き

入試広報センターに推薦用紙をご請求ください(校友会準会員の署名・捺印が必要です)。

対象入試

AO入試をご利用ください(試験詳細については、「入学ガイド」を必ずご確認ください)。

※ 本学を専願とする方に限ります。

問い合わせ 入試広報センター ●敬愛大学……………☎043-284-2486

AO入試の志願に際しては優遇措置を確実に履行するため校友会員との続柄を入試事務室にお知らせ下さい。

2017年度 AO 入試日程

入試区分	出願期間(必着)	試験日	合格発表	入学手続期間(必着)
3期	11/ 1(火)~11/17(木)	11/19(土)	11/22(火)	11/22(火)~12/ 6(火)
◇ 4期	11/21(月)~12/ 8(木)	12/10(土)	12/14(水)	12/14(水)~12/26(月)
5期	1 /26(木)~ 2 /17(金)	2 /21(火)	2 /24(金)	2 /24(金)~ 2 /28(火)
◇ 6期	3 / 7(火)~ 3 /22(水)	3 /24(金)	3 /24(金)	3 /24(金)~ 3 /29(水)

(注)「国際学部こども学科」は、◇印(4期、6期)のみ実施します。

本大学卒業生の近況や思い出を掲載するコーナーです。編集部では会員の皆様のお便りをお待ちしております。どんなささいな事でもかまいません。会報編集室までお送りください。

**OB&OG
情報**

- ◎ 原 稿 郵 送 先 〒263-8588 千葉市稲毛区穴川1-5-21 敬愛大学校友会事務局まで
- ◎ 敬愛大学ホームページ <http://www.u-keiai.ac.jp>
- ◎ 校 友 会 e - m a i l koukai@u-keiai.ac.jp

**お便り
お待ちしております!**

KEIAI FESTIVAL

2016

進化し続ける敬愛フェスティバル!
皆様のお越しをお待ちしております!



敬愛フェスティバル実行委員長
国際学部 こども学科3年

金井 悠也

今年度の敬愛フェスティバルは10月15日(土)・10月16日(日)の2日間にわたり開催致します。

毎年敬愛フェスティバルでは1つテーマを決め、そのテーマのもとフェスティバルに関わるすべての人たちが致団結し取り組んでいきます。

そして今年度のテーマは「満点」笑顔で織りなす敬愛の虹です。

このテーマの意味としては、敬愛フェスティバルに関わる人の笑顔、そして当日来場して下さったお客様の笑顔に



※写真は昨年の敬愛フェスティバルの様子。



満足すること間違いなしです!! 皆様のご来場をスタッフ一同心よりお待ちしております。

よって敬愛の虹を創りあげようというものです。今年のコンセプトは「笑顔がつながる敬愛フェス」です。笑顔は、楽しい場所、活気のある場所に存在します。また、つながるとは、「敬愛フェスティバル」に関わるスタッフ同士やスタッフとお客様とがつながること。今後の敬愛フェスティバルのさらなる飛躍に繋がればとの願いが込められています。

企画においては、毎年好評のお笑い企画や実際に体験できる理科実験、そして老若男女楽しめるビンゴ大会など様々な企画をご用意しております。

その中でも昨年大好評の目玉企画「サンドアート」では今年も皆様を幻想的な世界へとご案内いたします。

出店では今年も多くの種類のお店はもちろんのこと、観て楽しい展示もございます。他にも「敬愛フェスティバル」にはここでは書ききれないほどの魅力がございます。



平成
28年度
第6回

ホームカミングデー

10月15日(土)・16日(日)開催

「敬愛フェスティバル」

同時開催!!

本年も敬愛フェスティバルと同日二日間「ホームカミングデー」を開催致します。

敬愛大学を卒業された校友会の会員の方々が学部学科の垣根を超えて懐かしい母学のキャンパスに集い、全国に広がる会員の皆様との情報交換等が出来ると思います。

お気軽にお立ち寄りください。また、同時開催の「敬愛フェスティバル」に足を運んで頂くことによって長い間準備に力を注いだ学生達にとって心強い励みになると思います。

校友会設立30周年記念
スポーツタオルを
先着200名様に
プレゼント!!



〈ホームカミングデー来場記念〉